

(仮称) 恵庭市花と緑の文化センターについて

1. 経緯について

(仮称) 恵庭市花と緑の文化センター事業については、令和4年度に開催されました「第39回全国都市緑化北海道フェア」及び「全国都市緑化祭」の終了後、本イベントに関わっていただいた方々による「その後検討懇談会」を設置し提言をいただいたところです。

本事業は、様々な提言の内、中長期的な取組として、花のまちづくりに係る相談や市民がやりたいこと、行政がやるべきことの調整、花のまちづくりの啓発などを行う「中間支援機能」の提言に基づき、恵庭市の花のまちづくりを次世代や未来へつなげていくことを目的とするものです。

2. 設立検討会について

(仮称) 恵庭市花と緑の文化センターの設立に向け、事業内容や人材、財源確保、さらには組織や運営について議論することを目的に提言者を中心とした設立検討会を組織し、協議検討を実施しています。

①名称 「(仮称) 恵庭市花と緑の文化センター」設立検討会

②構成員 恵庭市花のまちづくり推進会議、恵庭観光協会、恵庭フラワーマスター協議会、恵庭まちづくり協同組合、株式会社ガーデンシティ恵庭（計7名）

3. これまでの取組みについて

1) 設立検討会の開催 計12回開催 2) 先進地視察の実施 令和6年7月

3) 花関係団体への説明及びヒアリング

4. 今後の活動とスケジュールについて

●花の拠点「はなふる」内に中間支援機能を持たせ、活動を通じた「花のまちづくり」への参画のきっかけづくりと、次世代の担い手づくりを推進する。

●令和7年度より、運営チームを発足し、下記の3つの事業を実施し検証を行う。

1) 花と緑に関する相談窓口運営事業

市民や町内会などが、花や樹木、庭造り、花壇づくりなどの相談できる機会を創出し、花と緑を通じたまちづくりへの興味を持っていただき、参画を促す。

2) 花の拠点「はなふる」の景観管理事業

「はなふる」が、花の拠点及び憩いの場として「景観の維持」や「将来のあり方」などを議論する場として、学識経験者、各専門家、植栽管理者、花関係団体、市民、行政の協働により、景観形成を通じた花のまちづくりへの参画に繋げる。

3) ガーデナー等研修事業

視察やガーデナー等の学びの場としての研修事業などを通して、市内の花関係団体や市民との交流を図り、新たな花のまちづくり活動に繋げる。